

特集 令和6年度垂水市施政方針

令和6年2月、第1回垂水市議会定例会において、尾脇市長が令和6年度の施政方針を発表しました。

施政方針とは、垂水市がどのような考えや方針でまちづくりを進めていくかということとを、毎年市議会定例会で発表するものです。

令和6年度の一般会計当初予算は、子育て支援や高齢者支援、市民の安全安心に係るインフラ整備、産業振興・経済活性化、デジタルを活用した市民幸福度の上昇等に関する事業費を優先して、予算編成を行いました。

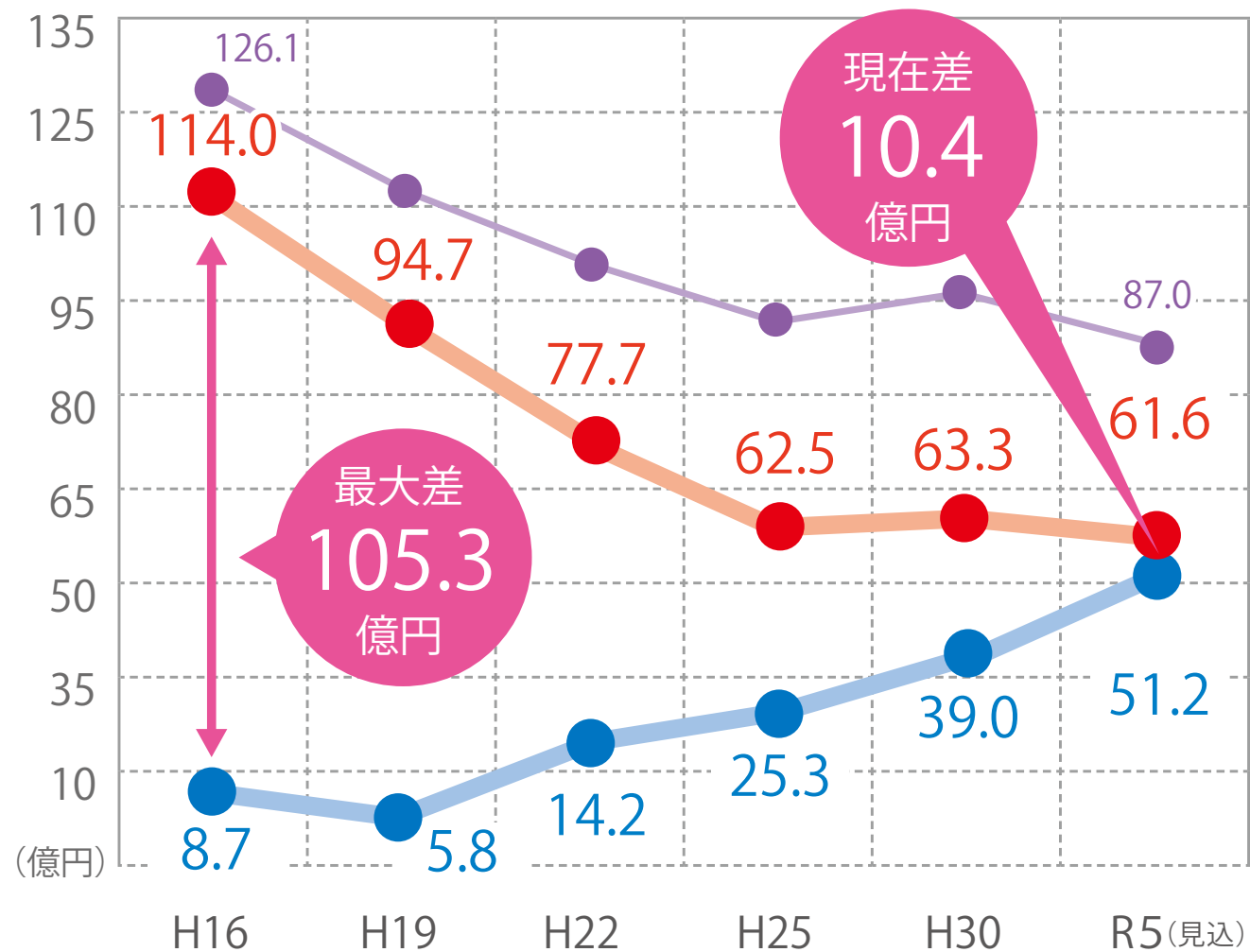
今月号の特集は、令和6年度の予算の考え方や垂水市の財政状況、主な事業等についてご説明いたします。



市の財政状況、貯金と借金のこれまで

下記のグラフは、垂水市の財政状況（借金・貯金）を表したものです。貯金は徐々に増加しており、借金は徐々に減少しているため、財政状況は改善傾向にあると言えます。主な要因は、ふるさと納税の増額、垂水市市有施設整備基金の設置、管理および処分に関する条例の制定、人件費の削減、財政改革プログラムによる事務事業の見直し等があげられます。

しかしながら、本市の財政状況は、地方交付税をはじめとする依存財源の割合が大きく、国の状況で財政運営が左右される脆弱な財政構造から脱していないため、今後も弾力的で足腰の強い財政構造を構築し、将来にわたって持続可能な財政基盤の確立を図ってまいります。



- 市債
- 借金 臨時財政対策債を除く市債
- 貯金 財政調整基金やふるさと応援基金などの各基金の合計

※臨時財政対策債は、本来交付されるべき地方交付税の振替として発行されるもので、元利償還金は100%交付税措置されることとなっている。

H16年とR5年を比較

94.9 億円
改善

平成 16 年 105.3 億円 — 令和 5 年 10.4 億円



予算編成の考え方

昨年 12 月に示された令和 6 年度の地方財政対策の概要では、社会保障関係費や人件費の増加が見込まれる中、地方団体が、住民のニーズに的確に応えつつ、こども・子育て政策の強化など様々な行政課題に対応し、行政サービスを安定的に提供できるよう、地方交付税等の一般財源総額について、令和 5 年度を上回る額が確保され、本市の主要財源である地方交付税総額については、令和 5 年度を上回る 18.7 兆円（前年比+ 0.3 兆円）が確保される見込みとなっております。

以上のような国の予算の状況を踏まえ、各事業の成果に重点をおいて、予算の質を高めることで財政運営の健全化を図りつつ、子育て支援や高齢者支援、市民の安心安全に係るインフラ整備、産業振興・経済活性化、デジタルを活用した市民幸福度の上昇等に関連する事業費を優先して、本市の令和 6 年度の予算を編成いたしました。



予算規模

総予算規模 ※一般会計に特別会計、事業会計を加えた総額

187 億 2,742 万 5 千円

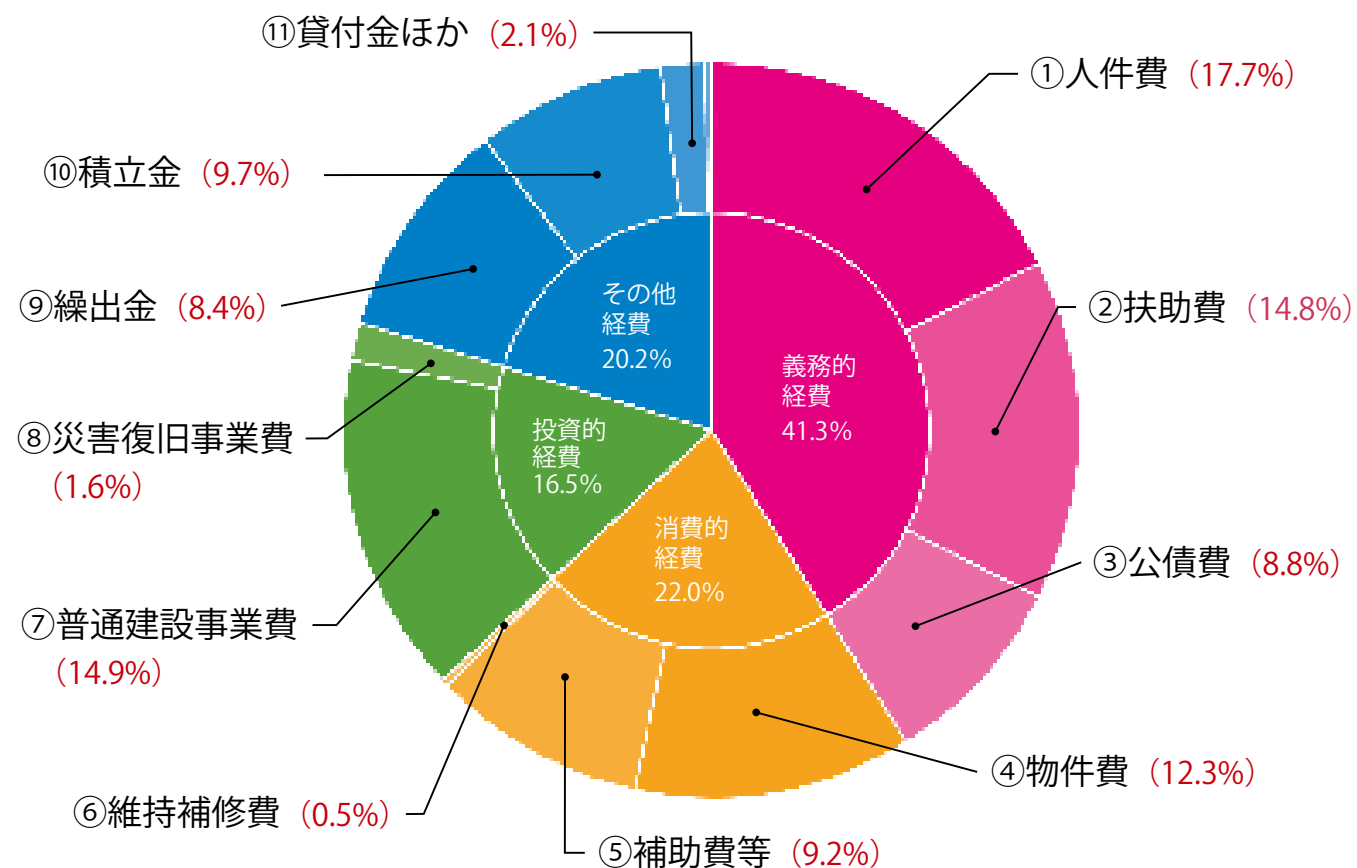
◎内訳

会計名		令和 6 年度予算額	令和 5 年度予算額	増減額	増減率
一般会計		119 億 8,000 万円	113 億 4,200 万円	6 億 3,800 万円	5.6%
特別会計	国民健康保険特別会計	24 億 5,688 万 2 千円	23 億 8,974 万 7 千円	6,713 万 5 千円	2.8%
	後期高齢者医療特別会計	2 億 9,166 万 3 千円	2 億 6,652 万 6 千円	2,513 万 7 千円	9.4%
	交通災害共済特別会計	525 万 1 千円	484 万 6 千円	40 万 5 千円	8.4%
	介護保険特別会計	22 億 4,669 万円	23 億 327 万 9 千円	▲ 5,658 万 9 千円	▲ 2.5%
	老人保健施設特別会計	6 億 6,272 万 4 千円	6 億 4,928 万 8 千円	1,343 万 6 千円	2.1%
	漁業集落排水処理施設特別会計	令和 6 年度から事業会計に移行	4,031 万 4 千円	—	皆減
	地方卸売市場特別会計	268 万 5 千円	261 万 7 千円	6 万 8 千円	2.6%
	小計	56 億 6,589 万 5 千円	56 億 5,661 万 7 千円	927 万 8 千円	0.2%
事業会計	水道事業会計	4 億 6,457 万 1 千円	4 億 6,264 万 3 千円	192 万 8 千円	0.4%
	病院事業会計	5 億 6,226 万 5 千円	5 億 7,901 万 8 千円	▲ 1,675 万 3 千円	▲ 2.9%
	漁業集落排水処理施設事業会計	5,469 万 4 千円	—	—	皆増
合計		187 億 2,742 万 5 千円	180 億 4,027 万 8 千円	6 億 8,714 万 7 千円	3.8%



一般会計

歳出 119 億 8,000 万円



- ※義務的経費 支出が義務付けられている経費
- ※消費的経費 形を残さない性質の経費
- ※投資的経費 公共事業費や国・県等の公共事業の負担額

義務的経費 49 億 5,353 万 2 千円 (41.3%)		
① 人件費	21 億 2,542 万 2 千円	17.7%
市の職員の給与や退職金の費用、共済費		
② 扶助費	17 億 7,390 万 6 千円	14.8%
社会保障制度に基づく経費など		
③ 公債費	10 億 5,420 万 4 千円	8.8%
市債元金の償還と利子の支払いに必要な経費		

投資的経費 19 億 7,663 万 2 千円 (16.5%)		
⑦ 普通建設事業費	17 億 8,974 万 2 千円	14.9%
道路の新設や小中学校の改築などの費用		
⑧ 災害復旧事業費	1 億 8,689 万円	1.6%
災害がおきた際に原状復帰のために用いる費用など		

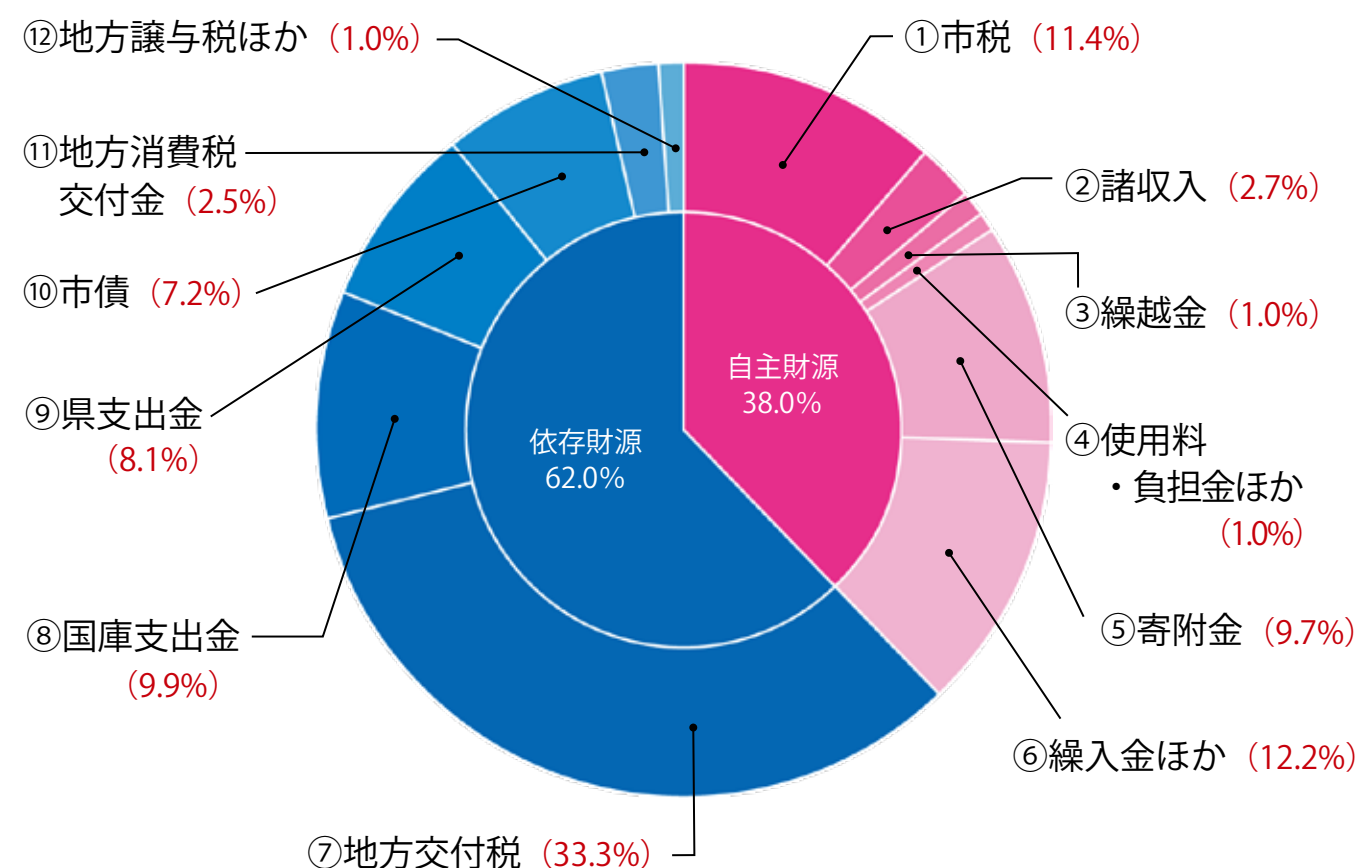
消費的経費 26 億 3,518 万 4 千円 (22.0%)		
④ 物件費	14 億 7,365 万 3 千円	12.3%
人件費・扶助費を除く、消費的な費用		
⑤ 補助費等	11 億 455 万 8 千円	9.2%
団体等を補助するために交付する費用など		
⑥ 維持補修費	5,697 万 3 千円	0.5%
公用施設等を維持する費用		

その他経費 24 億 1,465 万 2 千円 (20.2%)		
⑨ 繰出金	10 億 646 万 8 千円	8.4%
一般会計から特別会計等へ支出される費用など		
⑩ 積立金	11 億 5,618 万 4 千円	9.7%
基金等に積み立てるための費用		
⑪ 貸付金ほか	2 億 5,200 万円	2.1%
水産・畜産振興資金の貸付金など		



一般会計

歳入 119 億 8,000 万円



- ※自主財源 市が自ら徴収又は収納できる財源
- ※依存財源 国や県からの交付金等や借入れによる財源

自主財源 45 億 5,222 万 4 千円 (38.0%)		
① 市税	13 億 6,535 万 1 千円	11.4%
市民税・固定資産税・入湯税・たばこ税・軽自動車税		
② 諸収入	3 億 2,552 万 5 千円	2.7%
市の預金利子や各種貸付金の元利収入など		
③ 繰越金	1 億 2,000 万円	1.0%
前年度から繰り越されたお金		
④ 使用料・負担金等	1 億 3,052 万 2 千円	1.0%
市営住宅の家賃や保育所・老人施設の入所負担金など		
⑤ 寄附金	11 億 5,760 万 3 千円	9.7%
ふるさと応援寄附金など		
⑥ 繰入金等	14 億 5,322 万 3 千円	12.2%
基金や特別会計などから繰り入れたお金など		

依存財源 74 億 2,777 万 6 千円 (62.0%)		
⑦ 地方交付税	39 億 8,670 万円	33.3%
一定の基準により国から交付されたお金		
⑧ 国庫支出金	11 億 9,004 万 8 千円	9.9%
市の特定事業に対して、国から交付されたお金		
⑨ 県支出金	9 億 7,307 万 8 千円	8.1%
市の特定事業に対して、県から交付されたお金		
⑩ 市債	8 億 5,618 万 5 千円	7.2%
市が行う公共事業などの財源として、国や金融機関から借りたお金		
⑪ 地方消費税交付金	3 億円	2.5%
地方消費税の一部を、人口等で按分されて国から交付されたお金		
⑫ 地方譲与税等	1 億 2,176 万 5 千円	1.0%
国税として徴収され、そのまま国から市へ与えられた税金など		



「笑顔」・「安心」があふれる「潤いのある」まちづくりを推進するために、デジタル技術を活用し、未来を変革していくことで、市民の皆様の幸福度の上昇と、元気な垂水市の実現を目指します！



垂水市の未来変革 Future Transformation



令和6年第1回垂水市議会定例会では、令和6年度施政方針と予算について活発な議論が交わされたのち、議決（承認）をいただきました。ご理解をいただきました市議会議員の皆様、ありがとうございました。



デジタルを活用した 市民幸福度の上昇

理念
垂水市の発展
市民の幸福

姿勢
対話を重視
積極的な情報発信
国・県・近隣市町連携

早いもので、平成23年1月の初当選から、4期13年が経過いたしました。これまでの13年間、私は、「**垂水市の発展**」と「**市民の幸福**」の実現を、政治理念に掲げ、日々、「**元気な垂水市をつくる**」という強い信念のもと、「市民の声に耳を傾け、**対話を重視**していく姿勢」、「市民と行政との情報共有のための**積極的な情報発信**と説明責任を果たしていく姿勢」、「**国・県および近隣市町との連携・協力関係を最大限活用した市政運営に取り組む姿勢**」

を示し、これまで培った国や県とのパイプや人脈を生かしながら、元気な垂水づくりに全力を尽くしてまいりました。引き続き、「安心安全で住んでよかったと思えるまちづくり」を市民の皆様にご実感していただけるよう、市政の発展のため全身全霊で取り組み所存でございます。

予算につきましては、各事業がもたらす成果に重点をおき、積極的な財政運営を図りつつ、経済の好循環の起点となる賃上げの実現やDXの推進、こども・子育て政策の抜本的強化などを掲げた国の動向も踏まえ、本市が抱える社会的課題の解決を図るため、子育て支援や高齢者支援、市民の安心安全に係るインフラ整備、産業振興・経済活性化、デジタル技術を活用した市民幸

福度の上昇等に関連する事業を優先して編成いたしました。

令和5年度から「元気な垂水市」を「実現」するためのまちづくりの目標として、「笑顔があふれるまち」「安心なまち」「潤いのあるまち」の3つを掲げ、事業を展開しているところでありますが、令和6年度は、これらの推進のためデジタル技術等を積極的に活用することで、垂水市の未来を「変革」し、市民の皆様の幸福度の上昇と、元気な垂水市の実現を目指してまいります。



新規

子ども医療費無料化・窓口負担ゼロ

【保健課】

本市では、子育て世帯の経済的負担軽減および疾病の早期発見・早期治療を目的に、本市に在住している全ての18歳までの子どもを対象に、県に先駆けて、令和6年4月から医療費窓口無料化を実施いたします。

令和6年4月以前

住民税課税世帯に対し、一旦病院の窓口で医療費を支払い、後日、口座に振り込まれる「自動償還払い」方式。

令和6年4月以降

住民税の課税状況に関係なく、垂水市内22か所の医療機関、歯科、調剤薬局における窓口支払いを無くす。

※詳しくは、本誌54ページをご覧ください。

新規

0歳児から2歳児までの保育料無料化

【保健課】

市内保育所等における0歳から2歳までの、課税世帯の保育料について、令和6年4月から無料化を実施し、子育て世代が住みやすいまちづくりの推進を図ります。

継続

学校給食費負担金

4,053万5千円【教育総務課】

令和5年度2学期から開始された学校給食費の無料化を、引き続き行ってまいります。

笑顔があふれるまち

子どもからお年寄りまで笑顔がつづくまちづくり

拡充 認知症地域支援・ケア向上事業

【福祉課】

認知症の方を地域で支える取組みとして「認知症サポーター養成講座」の開催、チームオレンジの活動支援等を行い、地域の人々とともに暮らす共生社会の実現を目指します。

拡充 GIGAスクールを活用した教育の拡充

692万5千円【学校教育課】

ふるさと垂水の豊かな自然、産業、歴史等を全世界に発信する学習活動を行い、多様な表現力の向上を目指します。また、ICTリーダー育成講座を年5回開催します。

新規 シニアカー購入費補助事業

100万円【福祉課】

75歳以上の運転免許証を保有していない要支援・要介護1等の軽度者を対象に、介護予防のため、1世帯あたり最大10万円の購入費補助を行います。

新規 英語教育の拡充

1,189万7千円【学校教育課】

青少年海外派遣夢の翼事業における香港のウォン・シュー・チー中学校と、GIGA端末を活用してWebによる英語での交流を行います。

新規

産婦人科医療体制確保事業

(産婦人科医療体制確保補助金) 1,200万円【保健課】

2024年春
女性のための
新たな医療体制
はじまる。



垂水市には産婦人科がなく、女性が婦人科の診療や妊婦検診等を受診する場合は、垂水市外の産婦人科医療機関へ行く必要があり、身体的・経済的・時間的負担を抱えていました。この地域課題の解消と産婦人科医療体制の実現を目的に、昨年「垂水市と公益財団法人慈愛会との産婦人科医療体制確保事業に関する協定」を締結しました。この協定に基づき、同会が垂水市内に産婦人科医療機関を運営するために必要な経費を補助し、産婦人科医療体制の安定確保に務めます。

補足情報 新しく開設される産婦人科医療機関の名称や、診療日等の内容については、4月1日以降に公表が予定されております。詳しくは、右QRコードまたは市ホームページ、慈愛会ホームページからご確認ください。



▲詳細はHPへ

Smile

笑顔

があふれるまち

DX 関連 これからのまちづくりにおいて、デジタル技術を積極的に活用し、未来を変革していく必要があります。そのため、まずは市役所のDXを推進し、職員の業務負担軽減を図ることで、行政サービスの更なる向上に繋がっていくことを目指し、令和6年度は、業務用端末の更新や業務用コミュニケーションツールの導入等を行ってまいります。

命の大切さ」をテーマにした演劇に小学生・中学生を招待し、若い世代と平和について学ぶ機会といたします。

また、令和6年度で第10回開催記念となる和田英作・和田香苗記念絵画コンクールでは、入選作品に加え、特別展として、過去の大賞受賞作品や和田英作の模写作品、和田香苗作品の展示を予定しております。

芸術文化振興

令和6年度の自主文化事業では、8年ぶりに「平和の尊さ・

そこで、外国人の方々と、地域住民の皆様の橋渡しを行う「多文化共生まちづくりコーディネーター」を設置いたします。本事業は、地域おこし協力隊の制度を活用した事業であり、本市では初めて、地域おこし協力隊を迎え入れることとなります。具体的には、日本語教室の開催や、雇用企業向けの説明会・交流会の企画・運営といった共生社会の地域づくりを行っていただくための仕組みづくりを構築してまいります。

外国人との共生

本市における、技能実習生の方々を含めた外国人の数は、年々増加傾向にありますが、言葉や文化、生活習慣の違いに起因する様々な課題が表面化しております。

安心なまち

新規 地区防災計画及び 個別避難計画

【総務課】

令和6年能登半島地震で明らかになった課題や成果をふまえ、総合防災訓練等を実施いたします。

また、地区ごとに作成している地区防災計画や避難に支援が必要な方が作成する個別避難計画について、総合防災訓練計画に組み入れ、訓練を通じて計画の実効性向上に努めるとともに、各計画の見直しも順次行ってまいります。

▼地域の方々と地区防災マップを作成する様子



▼作成した地区防災マップ



新規 市内移動(交通)手段の 利便性向上

【企画政策課】

本市における望ましい地域旅客運送体系の姿を明らかにする地域公共交通マスタープランとしての「垂水市地域公共交通計画」を令和6年6月に策定し、計画に基づき、市内移動(交通)手段の利便性向上等を検討いたします。



新規

垂水中央運動公園体育施設改修事業

7,240万円【社会教育課】

庭球場管理棟の改修として、屋根・壁の劣化対策およびトイレの洋式化や多目的トイレの設置により、利用者の安全性の確保と利便性の向上を図ります。



新規

空き家リフォーム促進事業及び住宅リフォーム促進事業の延長

【企画政策課・土木課】

空き家リフォーム促進事業および住宅リフォーム促進事業を5年間延長し、市内空き家の有効活用による移住定住の促進を図るとともに、住宅リフォームの促進による快適な住環境の整備や、子育て世帯への支援等を図ってまいります。



拡充

たるみず元気プロジェクト

《健康長寿事業》

760万円【保健課】

平成29年度から取り組んでいる『たるみず元気プロジェクト』を、令和6年度からさらに拡充し、市民と従事スタッフの双方がより参加しやすい受診体制の構築に努めるとともに、抽選会の開催等、新規参加者確保に努め、より楽しく、健康と向き合う環境を整えてまいります。

主な内容

- ① 健康チェック／40歳以上の市民を対象に、無料で約18項目の検査を実施
- ② 健康チェック／報告会講師を招き、健康チェック結果表をお返し
- ③ 重症化高血圧 ZERO 教室／高血圧の重症化を予防・改善する健康教室
- ④ その他派生事業

◎垂水市スーパーバイザー
大石 充 教授

◎令和5年度健康チェックの様子



Safety

安心 なまち

消防団第1分団整備事業
令和5年度は、関係課による検討を重ね、地区住民の方への説明会等も踏まえ、候補地を決定したところです。令和6年度は、実施設計業務委託を計画しており、建物の規模や、工法等を決定したうえで、令和7年度の工事着工を目指します。

消防庁舎改修事業
消防庁舎については、耐震診断の結果を踏まえ、耐震補強工事を行うこととし、これまで専門家の意見等を伺いながら工法等を決定したところであり、令和5年度に実施設計が完了いたしました。引き続き、耐震改修工事に取り組んでまいります。

市庁舎改修事業
令和3年度の耐震診断の結果を踏まえ、建築の専門家や市民の方々と構成する「垂水市庁舎等のあり方検討委員会」において、全11回の協議を重ね、ご意見をいただいたうえで、令和5年度に実施設計が完了いたしました。
令和6年度から3か年をかけて耐震改修工事に取り組んでまいります。

冠水対策事業
中央地区の冠水対策について、令和3年度から改良工事を進めている、錦江町内の市道垂水9号線は、令和6年度で完了となります。
また、令和5年度から、中央地区全体における冠水状況の調査と冠水箇所の特定を行っており、対策の計画を作成するなど、引き続き取り組んでまいります。

新規

民間活力の導入 170万円【土木課】 (宮脇海岸公園の指定管理者による自主事業の展開)

公園施設の維持管理等を行っている宮脇海岸公園の指定管理者から、自主事業として、グランピングやカフェを併設した管理棟、バーベキューサイト等の設置・運営について提案がありました。

この提案は、地域資源を活用する新たな「稼ぐ力」の拠点となることで、「潤いのあるまちづくり」の実現に大きく寄与するものと期待されています。

宮脇海岸公園の特徴

県内でも類をみない国道沿いの約1 km にわたる樹齢100年を超えたアコウ並木のロケーション

今後の動き

令和6年 春頃 グランピング等の自主事業の住民説明会を開催

令和6年 夏頃 グランピング等の自主事業の運営開始

▼外観のイメージ図



地域資源を活かした潤いのあるまちづくり

潤いのあるまち

新規 農産物 6 次産業創出事業

102 万 7 千円【農林課】

施設及び機械の整備ならびに開発・販売促進に係る経費の補助を行い、6 次産業化の推進等による生産・加工体制の強化や、付加価値の向上に取り組んでまいります。



新規 地域計画推進事業

【農林課】

「地域計画」の合意形成に向けた話し合い活動を行い、地域農業のあり方や農地の集積・集約等、地域が 10 年後に目指す農地利用を示した「目標地図」作成を支援してまいります。



新規 畜産業支援

【農林課】

豚熱ワクチン接種費用の一部補助を行うほか、草地や畜舎等の生産基盤の整備、優良家畜の改良増殖など、高品質で低コストな生産技術の普及による畜産経営の安定に取り組んでまいります。



新規 小売業等店舗改装・開業支援補助金

300 万円【水産商工観光課】

市内で現に小売業事業等を行っている方や、開業する小売業者等に対して支援を行います。

開業支援

店舗等の新設や改装、広報に係る経費 3/4 の金額（上限 75 万円）を補助

店舗改装等支援

店舗改装・什器等購入に係る経費 1/2 金額（上限 50 万円）を補助

継続 特産品販路拡大支援事業・水産業販路拡大支援事業

480 万円【水産商工観光課】

包括連携協定に基づいた日本航空や、連結子会社である JALUX と連携し、本市特産品を活用したメニューの提供などを行い、内容の拡充に努めながら販路拡大支援事業に取り組んでまいります。



Abundance

潤いのあるまち

就業促進 令和 6 年度から垂水市インターシッ事業を実施いたします。2 日間の研修期間において、庁内業務の見学や市施設の見学、職員との意見交換等を行い、学生の就業意識の向上を図るとともに、自らの適性を考える機会を提供することで、将来的な職員の確保に繋がってまいります。

また、実践的な行政保健師業務の就業体験の提供や、人材確保に寄与することを目的に、看護学生等を対象に、保健業務に特化した受け入れを行う、保健業務インターシップを、昨年度に引き続き、実施いたします。

用した広報展開を行うことで地域活性化や関係人口の創出を図ります。

地域活性 令和 4 年度に、本市と包括連携協定を締結した鹿児島女子短期大学との連携事業として、本市の特産品を利用したメニューの開発や、本市の観光資源等を SNS 等を活用して発信する活動、本市のキャラクターを活用したグッズの開発、テレビ等のメディアを活用

子育て世代 令和 5 年度に実施した子育て世代のテレワーク子育て講座の受講生を対象に、より実践的な研修を行うとともに、月に 2 回、子育て支援センターの 2 階を開放し、託児を行うことで、子ども連れのまま出勤できる「子連れオフィス」として利用できるよう整備を行うことで、子育て世代の方々の交流やワークライフバランスの推進がなされるよう努めてまいります。